		專門学校	開講年度	平成30年度 (2	2018年度\	拇当	 美科目	環境工学	
		─── ─────────────────────────────────	、「河畔十久」	1 /3从30十/文(4	<u>~UIU十/又)</u>	JAS	בודם	ベルエ丁	
	此旧权	0011			科目区分	Ι.	吉服 / 22	+n	
科目番号 0011							専門 / 選		
受業形態講義				単位の種別と単位の単位の単位の単位の単位の単位の単位の単位の単位の単位の単位の単位の単位の単		学修単位	: 2		
		テム工学専攻		対象学年			1		
開設期前期			ļ. -		週時間数	2			
教科書/教	材	なし/講	内容のスライド						
旦当教員		奥村 充	司,桶谷 治寛,夛田 照代						
到達目標	票								
2) 人の 3) 自然 4) 持続	D健康に関す K生態系にて 記可能な謝意	る社会技術 いて基礎知	て、環境工学に関する およびその課題につい 識を習得し、自然再生 として、地球および地	て理解できる。 に関する取り組∂	みを理解できる。	或連携やな	企業の取	り組みについて理解できる。	
レーブリ	ノツク		TM+0+5++ T()++		I#3645 1				
			理想的な到達レベル		標準的な到達レ			未到達レベルの目安	
評価項目1			到達目標に示す内容	到達目標に示す内容を達成し、や 到達目標に示す や複雑な問題が解けること. 本的な問題が解		す内容を達成し,基			
			(で後椎/4)回起が飛り	nacc.	本的な問題が解	nacc.		いない.	
平価項目2									
平価項目3									
学科の至 ABEE JB		頁目との関	4 徐						
ABEE JE 教育方法									
3月刀万	ムサ	/- Hm 27 1-	学性日気恐怖についてで	日ムフィ +ルT-セ+ロ-1 サ	iのキフェンオポポーキ・	~" II 	ほのにた	マのちゅの生態での切入につい	
概要 埋解する。			る。さらに、地球環境問	生国家戦略について理解し、地球規模のあるいは地域レベルでの種の保存、そのための生態系の保全について さらに、地球環境問題がそれらの生態系に与える影響を理解した上で、環境保全活動における企業の役割や ジメントに付いて理解する。さらに、身近な事例によりそれらの事柄を自ら考え行動できるようにする。					
受業の進む 	め方・方法 	を紹介する 【学習・ 環境生産 【関連和	する. ・教育目標】 音システム工学プログラ 4目】	5ム : JB3(◎)	ジメントについて 会を構築するため る. また, 生命の	, ISO に行政, 循環を意	1400 企業, 住 識した生	(以)組みや国際情勢について学習され 1やライフサイクルアセスメントの E民,NPOおよび研究機関がどの。 態系保全について,最近の取り組み	
主意点				境衛牛丁学(環境	系本科4年)、環境	施設設計	(専攻科理	環境システム系2年)	
		マ) (6	方法】 倹の成績(40%)およて 60%)で評価する	,	ŕ		•	環境システム系2年) 企業と環境マネジメント10%の35	
	<u></u> 画	期末試験 マ)(6 【評価基 学年成績	5法】 炎の成績(40%)およて 60%)で評価する 基準】 責60点以上	,	ŕ	竟保全計區 -	· 画30%、:	・ 企業と環境マネジメント10%の3号	
	画	期末試験マ) (6	5法】	,	ŕ	寛保全計画 週ごとの	画30%、:: D到達目標	・ 企業と環境マネジメント10%の3号	
	画	期末試験マ) (6 【評価書業 学年成績	5法】 鉄の成績(40%)およで 50%)で評価する 基準】 責60点以上 授業内容	びレポート (生態	ŕ	遺ごとの 環境倫理	画30%、:: D到達目標	企業と環境マネジメント10%の3号	
	国	期末試(6)以下年成系	5法】	びレポート (生態	ŕ	週ごとの環境倫理	回30%、回30%、回30%、回30%、回30%、回30%、回30%、回30%、	企業と環境マネジメント10%の3号 要 している。	
		期末、(6) 以評年成為	5法】	びレポート (生態	ŕ	遺ごとの環境倫理上水道を下水道を	回30%、	企業と環境マネジメント10%の 3 号 景 している。 こいる。	
	1stQ	期末)(信息) 第一年	方法】	びレポート (生態	ŕ	遺ごとの環境倫理上水道を下水道を騒音・力	回30%、 の到達目標 型を理解して を理解して を理解して 大気汚染を	企業と環境マネジメント10%の3号 テ している。 こいる。 を理解している。	
		期マに成れています。 関本 は は は は は は は は は は は は は は は は は は	方法】 灸の成績(40%)および の%)で評価する 基準】 責60点以上 授業内容 授業概要 シラバスの説明 環境倫理 地球がよび地域におい 上水道 下水道 騒音・大気汚染 土壌・地下水汚染	びレポート (生態	ŕ	・ 関づとの・ 環境倫理・ 上水道を・ 上壌・ 地	回30%、対 回30%、对 回30%、可30%、对 回30%、对 回30%、对 回30%、对 回30% 可30%、对 回30%、对 回30%、对 回30%、对 回30%	企業と環境マネジメント10%の35票 している。 こいる。 こいる。 と理解している。 やを理解している。	
		期マ 間末 1週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 6週	方法】	ブレポート (生態 ナる環境問題	· 景系保全20%、環境	遺ごとの 環境倫理 上水道を 下、 軽音・サ 土壌・地 廃棄物の	回30%、対 回30%、对 回30%、可30%、对 回30% 可30% 可30%、对 回30%、对 回30%、对 回30%、对 回30%、对 回30%、对 回30%、对	企業と環境マネジメント10%の35票 している。 こいる。 と理解している。 全理解している。 全理解している。 会を理解している。	
		期マに成れています。 関本 は は は は は は は は は は は は は は は は は は	方法】 (大会の) (40%) およで (20%) で評価する (20%) で評価する (20%) で評価する (20%) で評価する (20%) で評価する (20%) で評価する (20%) で評価 (20%) では (20%)	プレポート (生態 する環境問題 自然生態系)・	· 景系保全20%、環境	遺の 環境倫理 上水道を 上水道を 上来乗物の 環境保証	回30%、 の到達目相 理を理解して を理解して をでである。 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 でいますが、 でいまがが、 でいまががが、 でいまがが、 でいまががががが、 でいまががががががががががががががががががが	企業と環境マネジメント10%の35 悪 している。 ている。 を理解している。 やを理解している。 やを理解している。 ・環境の評価・	
受業計画		期マ【学 週 1週 2週 3週 3週 4週 5週 60 7週	5法】 (大会の) (40%) およて (20%) で評価する (20%) で評価する (20%) で評価する (20%) で評価する (20%) で評価する (20%) で評価する (20%) で評価である (20%) で評価である (20%) では、 (20%)	プレポート (生態 する環境問題 自然生態系)・ 去	· 景系保全20%、環境	環保全計画 週で 環境 では 一下、水 は で は で で で に で に で に り に り に り に り に り に り に	回30%、 回30%、 の到達目相 型を理解して 大気水汚済 も下、理理が のかに とは、 のかに のかに のかに のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、	企業と環境マネジメント10%の35 こいる。 こいる。 と理解している。 やを理解している。 やを理解している。 うを理解している。 うを理解している。 同様、自然生態系)・環境の評価・ の手法を理解している。	
受業計画		期マ【学 週 1 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週	方法】 (全) (40%) および (50%) で評価する (50%) で記述していまる (50%) で記述していまる	プレポート (生態 する環境問題 自然生態系)・ 去	· 景系保全20%、環境	現場では、 現場では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	回30%、対象を理解して、 を理解して、 を理解して、 をででである。 をでは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 でいる。 では、 でいる。 でい。 でいる。 でい	企業と環境マネジメント10%の35票。 こいる。 こいる。 ご理解している。 全理解している。 全理解している。 うを理解している。 環境、自然生態系)・環境の評価・ の手法を理解している。	
受業計画		期マ 場	方法】 灸の成績(40%)および ②の(40%)および ②の(40%)および ②の(40%)が表する (40%)が表する (40%)が表する (40%)が表する (40%)が表する 「評価する 一様ではいまする 一様ではいます。 「大気にいまする 「大気にいまする 「大気にいまする 「大気にいまする 「大気にいまする 「大気にいまする 「大気にいまする 「大気にいまする 「はいまする。 「はいまなる。 「はいまなる。 「はいまなる。 「はいまなる。 「はいまなる。 「はいまなる。 「はいまなる。 「はいまなる。 「はいまなる。 「はいまなる。 「はいまなる。 「はいまなる。 「はいまなる。 「はいまなる。 「はいまなる。 「はなる。 「はなる。 「はなる。 「はなる。 「はなる。 「は	プレポート(生態 する環境問題 自然生態系)・ 去	· 景系保全20%、環境	現場 では できます できます できます できます できます できます できます かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かい	回30%、対象の対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	企業と環境マネジメント10%の3 まままでである。 こいる。 こいる。 これる。 と理解している。 やを理解している。 やを理解している。 同境、自然生態系)・環境の評価・ の下法を理解している。 の下法を理解している。	
受業計画		期マ【学 週 1 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週	方法】 灸の成績(40%)および ②の(40%)および ②の(40%)および ②の(40%)が表す。 ②の(40%)が表す。 「おいたでにはない。 「おいたでにはない。 「大気でにはない。 「大気ではない。 「ないたではない。」 「ないたではないではない。」 「ないたではないではないではないではないではないではないではないではないではないではない	プレポート(生態 する環境問題 自然生態系)・ 法 用生態工学	· 景系保全20%、環境	現場 では できます できます できます できます できます できます できます かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かい	回30%、対象の対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	企業と環境マネジメント10%の35票。 こいる。 こいる。 ご理解している。 全理解している。 全理解している。 うを理解している。 環境、自然生態系)・環境の評価・ の手法を理解している。	
受業計画		期マ 場	方法】 (全) (40%) および (5) (40%) および (5) (00%) で評価する (5) (10%) で評価する (5) (10%) で評価する (5) (5) (40%) および (5) (6) (6) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	ナる環境問題 自然生態系)・ 大を 自然生態系)・ 大きなの取り組み ドーの合理化	張系保全20%、環境の評価・環	院保全計画 環境・大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・	回30%、対象の対象の対象の対象の対象の対象の対象の対象の対象の対象の対象の対象の対象の対	企業と環境マネジメント10%の3 まままでである。 こいる。 こいる。 これる。 と理解している。 やを理解している。 やを理解している。 同境、自然生態系)・環境の評価・ の下法を理解している。 の下法を理解している。	
受業計画	1stQ	期マ【学 週 1週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週	方法】 (40%) および (40%) および (20%) で評価する (20%) でいる (20%) で評価する (20%) で評価する (20%) で評価する (20%) で評価する (20%) でいる (20%) で評価する (20%) で評価する (20%) で評価する (20%) でいる (20%) でいる	プレポート(生態 する環境問題 自然生態系)・ 法 用生態工学 への取り組み ドーの合理化 省エネの対策動	張系保全20%、環境の評価・環	院保全計画 環境・大阪・大阪では、大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大	回30%、 回30%	企業と環境マネジメント10%の3 まままで、	
受業計画		期マ 場別	方法】 (40%) および (40%) および (20%) で評価する (20%) で記述しています。 (20%) で記述しています。 (2	プレポート(生態 する環境問題 自然生態系)・ 大き 自然生態系)・ 大き 自然生態系)・ 大き は は は に が に が に が に が に に に に に に に に に に に に に	張系保全20%、環境の評価・環	原保 週環 上 下騒土廃環境 自 自 コ 我る 地 を は が ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	回30%、対 回30%、对	企業と環境マネジメント10%の35票 一ている。 こいる。 こいる。 と理解している。 と理解している。 対を理解している。 環境、自然生態系)・環境の評価・ の下生態工学を理解している。 がを理解している。 がを理解している。 となれるがでは、 の応用生態工学を理解している。 が、 の本理解している。 を理解している。 を理解している。 を理解している。 を理解している。 を理解している。 を理解している。 を理解している。 を理解している。	
受業計画	1stQ	期マ【学 週 1週 週週週週週週 11週 週 週 週 週 週 週 週 111週 週 週 12週 週 13週 週 12週 13週	方法】 (40%) およて (50%) で評価する (50%) で記述しています。 (50%) で記述していまする。 (50%) で記述しています。 (50%) で記述していまする。 (50%) で記述しています。 (50%) で記述しています。 (50%) で記述しています。 (50%) で記述しています。 (50%) で記述しています。 (50%) で記述していまする。 (50%) で記述しています。 (50%) で記述しています。 (50%) で記述しています。 (50%) で記述しています。 (50%) で記述しています。 (プレポート (生態 する環境問題 自然生態系)・ と 相生態工学 への取り組み ドーの合理化 省エネの対策動 十画 (その1)	張系保全20%、環境の評価・環	院保 週 環 上 下騒土廃環境 自 自 コ 我る 地 エ ・ 本 の 全 が ・ は か の 全 グ に す は ま か に す れ ま し り の ま か に す れ ま し り の ま か に す れ ま し り の ま か に す れ ま し り の ま か に す れ ま し り の ま か に す れ ま し り の ま か に す れ ま し り の ま か に す れ ま し か に す れ ま し か に す れ ま し か に す れ ま し か に す れ ま し れ ま か に す れ ま ま か に す れ ま ま か に す れ ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま	回30%、対 回30%、对	企業と環境マネジメント10%の3元票 一ている。 こいる。 こいる。 と理解している。 会を理解している。 対を理解している。 環境、自然生態系)・環境の評価・対象主要解している。 の本の手法を理解している。 対を理解している。 とな理解している。 の本の取り組みを理解している。 とな理解している。	
受業計画	1stQ	期マ【学 週 1週 週週 週週 週週 11週 週 11週 週 113週 114週 114	方法】 (40%) およて (20%) で評価する (20%) で評価する (24) で評価する (25) で評価する (26) で記述 (26) で評価する (26) で記述 (2	プレポート (生態 する環境問題 自然生態系)・ と 相生態工学 への取り組み ドーの合理化 省エネの対策動 十画 (その1)	張系保全20%、環境の評価・環	院保 週 環 上 下騒土廃環境 自 自 コ 我る 地 エ ・ 本 の 全 が ・ は か の 全 グ に す は ま か に す れ ま し り の ま か に す れ ま し り の ま か に す れ ま し り の ま か に す れ ま し り の ま か に す れ ま し り の ま か に す れ ま し り の ま か に す れ ま し り の ま か に す れ ま し か に す れ ま し か に す れ ま し か に す れ ま し か に す れ ま し れ ま か に す れ ま ま か に す れ ま ま か に す れ ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま	回30%、対 回30%、对	企業と環境マネジメント10%の35票 一ている。 こいる。 こいる。 と理解している。 と理解している。 対を理解している。 環境、自然生態系)・環境の評価・ の下生態工学を理解している。 がを理解している。 がを理解している。 となれるがでは、 の応用生態工学を理解している。 が、 の本理解している。 を理解している。 を理解している。 を理解している。 を理解している。 を理解している。 を理解している。 を理解している。 を理解している。	
受業計画	1stQ	期マ【学 週 1週 週週週週週週 111週週 123週週 113週週 113週週 113週週 113週 113	方法】 (40%) およて (50%) で評価する (50%) で記述しています。 (50%) で記述していまする。 (50%) で記述しています。 (50%) で記述していまする。 (50%) で記述しています。 (50%) で記述しています。 (50%) で記述しています。 (50%) で記述しています。 (50%) で記述しています。 (50%) で記述していまする。 (50%) で記述しています。 (50%) で記述しています。 (50%) で記述しています。 (50%) で記述しています。 (50%) で記述しています。 (プレポート (生態 する環境問題 自然生態系)・ と 相生態工学 への取り組み ドーの合理化 省エネの対策動 十画 (その1)	張系保全20%、環境の評価・環	院保 週 環 上 下騒土廃環境 自 自 コ 我る 地 エ ・ 本 の 全 が ・ は か の 全 グ に す は ま か に す れ ま し り の ま か に す れ ま し り の ま か に す れ ま し り の ま か に す れ ま し り の ま か に す れ ま し り の ま か に す れ ま し り の ま か に す れ ま し り の ま か に す れ ま し か に す れ ま し か に す れ ま し か に す れ ま し か に す れ ま し れ ま か に す れ ま ま か に す れ ま ま か に す れ ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま	回30%、対 回30%、对	企業と環境マネジメント10%の3元票 一ている。 こいる。 こいる。 と理解している。 会を理解している。 対を理解している。 環境、自然生態系)・環境の評価・対象主要解している。 の本の手法を理解している。 対を理解している。 とな理解している。 の本の取り組みを理解している。 とな理解している。	
受業計画	1stQ	期マ【学 週 1 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週	方法】 (全の) (40%) および (20%) で評価する (20%) で評価が (20%) で評価する (20%) で記述 (20%) で評価する (20%) で記述 (20%) で評価する (20%) で記述 (20%) で記述	プレポート(生態 する環境問題 自然生態系)・ 田生態工学 への取り組み ドーの合理化 省エネの対策動 十画 (その1) (その1)	張系保全20%、環境の評価・環	院保 週 環 上 下騒土廃環境 自 自 コ 我る 地 エ ・ 本 の 全 が ・ は か の 全 グ に す は ま か に す れ ま し り の ま か に す れ ま し り の ま か に す れ ま し り の ま か に す れ ま し り の ま か に す れ ま し り の ま か に す れ ま し り の ま か に す れ ま し り の ま か に す れ ま し か に す れ ま し か に す れ ま し か に す れ ま し か に す れ ま し れ ま か に す れ ま ま か に す れ ま ま か に す れ ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま	回30%、対 回30%、对	企業と環境マネジメント10%の3元票 一ている。 こいる。 こいる。 と理解している。 会を理解している。 対を理解している。 環境、自然生態系)・環境の評価・対象主要解している。 の本の手法を理解している。 対を理解している。 とな理解している。 の本の取り組みを理解している。 とな理解している。	
受業計画	1stQ	期マ (学 週 1 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週	方法】 (40%) および (40%) および (90%) で評価する	プレポート (生態 する環境問題 自然生態系)・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	張系保全20%、環境の評価・環	院保 週 環 上 下騒土廃環境 自 自 コ 我る 地 エ ・ 本 の 全 が ・ は か の 全 グ に す は ま か に す れ ま し り の ま か に す れ ま し り の ま か に す れ ま し り の ま か に す れ ま し り の ま か に す れ ま し り の ま か に す れ ま し り の ま か に す れ ま し り の ま か に す れ ま し か に す れ ま し か に す れ ま し か に す れ ま し か に す れ ま し れ ま か に す れ ま ま か に す れ ま ま か に す れ ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま	回30%、対 回30%、对	企業と環境マネジメント10%の3 まままで、	
受業計画	1stQ 2ndQ	期マ【学 週 1 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週	方法】 (40%) および (40%) および (90%) で評価する	プレポート(生態 する環境問題 自然生態系)・ 田生態工学 への取り組み ドーの合理化 省エネの対策動 十画 (その1) (その1)	張系保全20%、環境の評価・環	院保 週 環 上 下騒土廃環境 自 自 コ 我る 地 エ ・ 本 の 全 が ・ は か の 全 グ に す は ま か に す れ ま し り の ま か に す れ ま し り の ま か に す れ ま し り の ま か に す れ ま し り の ま か に す れ ま し り の ま か に す れ ま し り の ま か に す れ ま し り の ま か に す れ ま し か に す れ ま し か に す れ ま し か に す れ ま し か に す れ ま し れ ま か に す れ ま ま か に す れ ま ま か に す れ ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま	回30%、対 回30%、对	企業と環境マネジメント10%の3元票 一ている。 こいる。 こいる。 と理解している。 会を理解している。 対を理解している。 環境、自然生態系)・環境の評価・対象主要解している。 の本の手法を理解している。 対を理解している。 とな理解している。 の本の取り組みを理解している。 とな理解している。	
受業計画	1stQ 2ndQ	期マ (学 週 1 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週	方法】 (40%) および (40%) および (90%) で評価する	プレポート (生態 する環境問題 自然生態系)・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	張系保全20%、環境の評価・環	院保 週 環 上 下騒土廃環境 自 自 コ 我る 地 エ ・ 本 の 全 が ・ は か の 全 グ に す は ま か に す れ ま し り の ま か に す れ ま し り の ま か に す れ ま し り の ま か に す れ ま し り の ま か に す れ ま し り の ま か に す れ ま し り の ま か に す れ ま し り の ま か に す れ ま し か に す れ ま し か に す れ ま し か に す れ ま し か に す れ ま し れ ま か に す れ ま ま か に す れ ま ま か に す れ ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま	回30%、対 回30%、对	企業と環境マネジメント10%の35票 でいる。 でいる。 でいる。 で理解している。 党を理解している。 環境、自然生態系)・環境の評価・カラ手法を理解している。 の応用生態工学を理解している。 大を理解している。 大を理解している。 優化、省エネの対策動向を理解している。 選化を理解している。 理化を理解している。 理化を理解している。 理化を理解している。 理化を理解している。 理化を理解している。 理化を理解している。	
受業計画	1stQ 2ndQ	期マ (学 週 1 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週	方法】 (40%) および (40%) および (90%) で評価する	プレポート (生態 する環境問題 自然生態系)・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	張系保全20%、環境の評価・環	院保 週 環 上 下騒土廃環境 自 自 コ 我る 地 エ ・ 本 の 全 が ・ は か の 全 グ に す は ま か に す れ ま し り の ま か に す れ ま し り の ま か に す れ ま し り の ま か に す れ ま し り の ま か に す れ ま し り の ま か に す れ ま し り の ま か に す れ ま し り の ま か に す れ ま し か に す れ ま し か に す れ ま し か に す れ ま し か に す れ ま し れ ま か に す れ ま ま か に す れ ま ま か に す れ ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま	回30%、対 回30%、对	企業と環境マネジメント10%の3 まままで、	
受業計画	1stQ 2ndQ	期マ (学 週 1 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週	方法】 (40%) およて (20%) で評価する (20%) でいましまが (20%) でいまします。 (20%) でいましますます。 (20%) でいますます。 (20%) でいますます。	プレポート (生態 する環境問題 自然生態系)・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	環境の評価・環動向	院保 週 環 上 下騒土廃環境 自 自 コ 我る 地 エ ・ 本 の 全 が ・ は か の 全 グ に す は ま か に す れ ま し り の ま か に す れ ま し り の ま か に す れ ま し り の ま か に す れ ま し り の ま か に す れ ま し り の ま か に す れ ま し り の ま か に す れ ま し り の ま か に す れ ま し か に す れ ま し か に す れ ま し か に す れ ま し か に す れ ま し れ ま か に す れ ま ま か に す れ ま ま か に す れ ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま	回30%、対 回30%、对	企業と環境マネジメント10%の35票 でいる。 でいる。 でいる。 で理解している。 党を理解している。 環境、自然生態系)・環境の評価・カラ手法を理解している。 の応用生態工学を理解している。 大を理解している。 大を理解している。 優化、省エネの対策動向を理解している。 選化を理解している。 理化を理解している。 理化を理解している。 理化を理解している。 理化を理解している。 理化を理解している。 理化を理解している。	
受業計画	1stQ 2ndQ コアカリニ 合	期マ (学 週 1 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週	方法】 (40%) および (40%) および (90%) で評価する (10%) でいまが (10%) でいまな (10%) でいまな	プレポート (生態 する環境問題 自然生態系)・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	張系保全20%、環境の評価・環 動向	院保 週 環 上 下騒土廃環境 自 自 コ 我る 地 エ ・ 本 の 全 が ・ は か の 全 グ に す は ま か に す れ ま し り の ま か に す れ ま し り の ま か に す れ ま し り の ま か に す れ ま し り の ま か に す れ ま し り の ま か に す れ ま し り の ま か に す れ ま し り の ま か に す れ ま し か に す れ ま し か に す れ ま し か に す れ ま し か に す れ ま し れ ま か に す れ ま ま か に す れ ま ま か に す れ ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま	回30%、対 回30%、对	企業と環境マネジメント10%の3 まままで、	

		1	
分野横断的能力	ln .	ln	ln .
ノノエバスはバルンはピノノ	10	10	10